

令和7年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
生理光学 I 演習		講義・演習	荒木 渚・荻野 綾	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
視力屈折検査は眼科検査を代表する最も有名な検査です。生理光学 I で学習した内容を基に、検査の実践ができることを目的とします。				
授業の到達目標				
①視力値の判定ができる。 ②球面レンズ矯正ができる。 ③結果を記載できる。 ④オートレフラクトメータを用いて眼の屈折値を測定することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	視力検査、カルテに用いる略語【講義】 授業開始時期：生理光学 I 第3回終了後			
2	視力測定 (視力0.1~1.2) 【演習】			
3	視力測定 (視力0.1以下) 【演習】			
4	近視矯正の方法【講義】 授業開始時期：生理光学 I 第9回終了後			
5	近視矯正 (レフなし) ①【演習】			
6	近視矯正 (レフなし) ②【演習】			
7	遠視矯正の方法【講義】			
8	遠視矯正 (レフなし) 【演習】			
9	雲霧法 (遠視、調節痙攣) 【講義】			
10	球面レンズ矯正 まとめ【講義】			
11	赤緑試験【講義】			
12	オートレフラクトメータ【演習】 授業開始時期：生理光学 I 第14回終了後			
13	球面レンズ矯正 (レフあり) ①【演習】			
14	球面レンズ矯正 (レフあり) ②【演習】			
15	球面レンズ矯正 (レフあり) ③【演習】			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	50%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点	10%	授業に取り組む姿勢、積極性を評価します。		
その他	40%	実技試験により習熟度を評価します。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第3版	小林義治 他編	文光堂		
目でみる 視力・屈折検査の進めかた 第2版増補	所敬・山下牧子 著	金原出版		
視能学エキスパート 視能検査学 第2版	和田直子 他編	医学書院		
眼科検査ガイド 第3版	根木昭 監修	文光堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
理解を深めよう 視力検査 屈折検査	所敬 監修	金原出版		
屈折異常とその矯正 改訂第7版	所敬 著	金原出版		
自由記載				
備考				